

海外預り金に関する事務においてオンライン取引先または日本銀行が MX 電文を受信した場合の取扱いに関する照会への回答について

日銀業第 506 号または日銀業第 646 号の公表後、海外預り金に関する事務においてオンライン取引先または日本銀行が MX 電文を受信した場合の取扱いに関し、オンライン取引先から照会を受けた事項がありました。ご参考までに、当該照会への回答を次のとおりお知らせします。

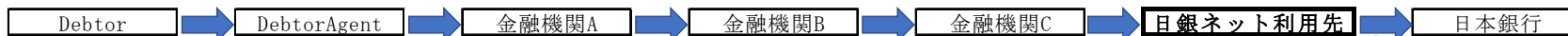
—— 日銀業第 646 号別紙 3 の内容に 4. および 5. を追加。1. ～ 3. については、1. のみ一部変更、2. および 3. は不変。

1. オンライン取引先または日本銀行が受信した MX 電文中の項目群「ChargesInformation」に記載された情報等の取扱い

- オンライン取引先が受信した MX 電文中の項目群「ChargesInformation」に記載された情報は、日銀ネット電文における項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」に入力してください。また、当該取引についてオンライン取引先自身が手数料を徴収する場合は、その情報を日銀ネット電文における項目群「ChargesInformation」に入力してください（具体例は次のとおりです）。【日銀業第 646 号から不変】

海外預り金取引にかかる日銀ネット電文等の設定項目（一部）について

【例：MX 電文における項目「ChargeBearer」に「SHAR」が記載されていた場合】



MX 電文

- ・ ChargesInformation (1回目)
: 金融機関Aが徴収した手数料にかかる情報
- ・ ChargesInformation (2回目)
: 金融機関Bが徴収した手数料にかかる情報
- ・ ChargesInformation (3回目)
: 金融機関Cが徴収した手数料にかかる情報

日銀ネット電文

- ・ ChargesInformation
: 日銀ネット利用先が徴収した手数料にかかる情報
- ・ 項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」における記載
「ChargesInformation: 金融機関Aが徴収した手数料にかかる情報」
「ChargesInformation: 金融機関Bが徴収した手数料にかかる情報」
「ChargesInformation: 金融機関Cが徴収した手数料にかかる情報」
「上記日銀ネット利用先情報のうち、日銀ネット電文に存在しない項目」
.
.
.

- そのうえで、SWIFT 電文の項目に関する記載ルール（現時点における最新のもの）を踏まえ、次の点にご留意いただくことを想定しています。【日銀業第 646 号から変更あり】

①項目「ChargeBearer」の内容が「CRED」の場合

当該取引において金融機関等が徴収した手数料の情報が入力されていること。

②項目「ChargeBearer」の内容が「DEBT」の場合

前払いで手数料を支払う（手数料額を送金依頼額に上乗せしたかたちで支払う）場合に設定を行うルールとなっていると考えられますが、日本銀行がオンライン取引先から前払いで手数料を受取ることは現行同様に想定していないため、手数料の情報が入力されていないこと。

- 日本銀行がオンライン取引先に対して送信する日銀ネット電文についても、これに準じて別紙 1 のとおり設定を行います。なお、現時点において日本銀行が海外預り金取引に関する手数料を徴収することは想定しておらず、日銀ネット電文における項目群「ChargesInformation」の取扱いは、次のとおりとする予定です（別紙 3 の「別紙 1. 「顧客送金：CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」における変更箇所」における項番等 24-2 ～ 24-6 にも記載しています）。【日銀業第 646 号から変更あり】

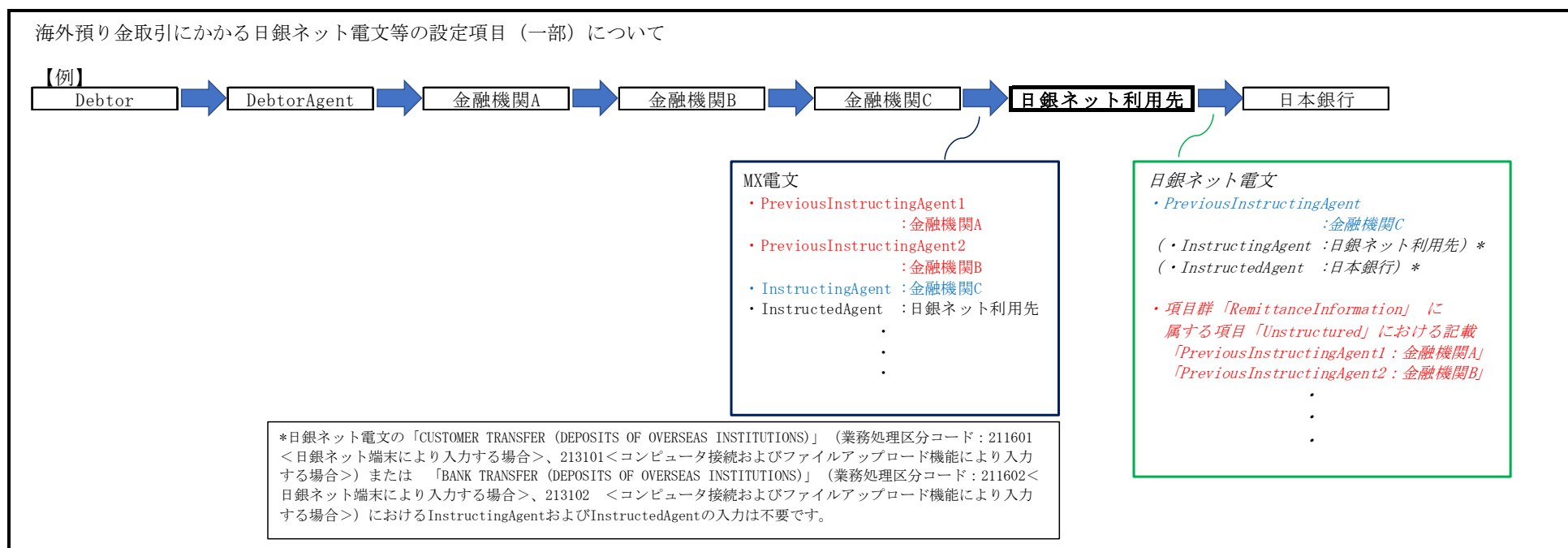
①項目「ChargeBearer」の内容が「CRED」または「SHAR」の場合

項目「Amount」（0 円）と項目群「Agent」（日本銀行の BIC コード）を設定します。

②項目「ChargeBearer」の内容が「DEBT」の場合

設定しません（日本銀行がオンライン取引先に対して前払いで手数料を支払う（手数料額を送金依頼額に上乗せしたかたちで支払う）ことを想定していないため）。

2. オンライン取引先または日本銀行が受信した MX 電文中の項目群「PreviousInstructingAgent1」～「PreviousInstructingAgent3」および「PreviousInstructingAgent1Account」～「PreviousInstructingAgent3Account」に記載された情報等の取扱い【日銀業第 646 号から不変】
- オンライン取引先が受信した MX 電文中の項目群「PreviousInstructingAgent1」～「PreviousInstructingAgent3」に記載された情報は、日銀ネット電文における項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」に入力してください（具体例は次のとおりです）。項目群「PreviousInstructingAgent1Account」～「PreviousInstructingAgent3Account」についても同様の取扱いです。



- 日本銀行がオンライン取引先に対して送信する日銀ネット電文についても、これに準じて設定を行います。

3. コンピュータ接続先等または日本銀行が送信する日銀ネット電文が MX 電文に基づくものであることを示す文字列¹【日銀業第 646 号から不変】

- ・ 日銀業第 506 号で今後決定することとしていた、コンピュータ接続先等または日本銀行が MX 電文を受信した場合に、日銀ネット電文中に設定^(注)する文字列は「FXYCSV8」とします。

(注) 項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」に入力します。

- ・ 日本銀行がオンライン取引先（日銀ネット端末を利用して事務を行うオンライン取引先およびコンピュータ接続先等）に対して送信する日銀ネット電文についても同様です（設定内容の詳細については、別紙 1 および別紙 2 をご参照ください）。

4. 入金が行われる海外預り金勘定の名義人である外国中央銀行等の決済関係者にかかる情報の取扱い【日銀業第 506 号から変更あり】

- ・ SWIFT 電文の項目に関する記載ルール（現時点における最新のもの）を踏まえ、オンライン取引先がコルレス先等から受信した MX 電文の情報を日銀ネット電文により送信する場合には、以下のとおり決済関係者²にかかる情報を入力していただく予定です。

決済関係者	設定内容
入金が行われる海外預り金勘定の名義人である外国中央銀行等	原則として入金が行われる海外預り金勘定の名義人である外国中央銀行等の BIC コードを入力するが、当該 BIC コードが示すものと一致したものである限りにおいて、BIC コード <u>以外</u> の項目 ³ を併せて入力しても差し支えないものとす

¹日銀業第 506 号の別紙 1 における【参考】 1.（オンライン取引先が日銀ネット端末を利用して事務を行う場合）または別紙 2 における 2.（4）イ、（イ）（オンライン取引先がコンピュータ接続およびファイルアップロード・ダウンロード機能を利用して事務を行う場合）をご参照ください。

² 具体的な項目群は以下のとおりです（BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)における項目群「UnderlyingCustomerCreditTransfer」に属するものを含みます）。

「PreviousInstructingAgent1」、「PreviousInstructingAgent2」、「PreviousInstructingAgent3」、「IntermediaryAgent1」、「IntermediaryAgent2」、「IntermediaryAgent3」、「UltimateDebtor」、「InitiatingParty」、「Debtor」、「DebtorAgent」、「CreditorAgent」、「Creditor」、「UltimateCreditor」

³ 金融機関の場合は、「ClearingSystemMemberIdentification」、「LEI」、「Name」、「PostalAddress」。

金融機関以外の場合は、「Name」、「PostalAddress」、「Identification」、「CountryOfResidence」。

	る。ただし、BIC コードと BIC コード <u>以外</u> の項目が示すものが不整合であった場合、入金先の外国中央銀行等を特定できず、オンライン取引先に対し取引内容の訂正または取引の取消を依頼することとなる。
上記以外の決済関係者	BIC コードと BIC コード <u>以外</u> の項目（同）の両方を入力することを差し支えないものとする。

—— なお、「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則（当座勘定取引）」については、上記の点も踏まえ 2022 年 11 月以降の取扱いを定めた改訂を適宜のタイミングで実施することを予定しています。

- ・ 日本銀行がオンライン取引先に対して送信する日銀ネット電文については、外国中央銀行等から受信した MX 電文に記載された決済関係者の内容（日本銀行が当座勘定への入金を行うオンライン取引先にかかるもの⁴を除く）をそのまま設定することを予定しています。

5. オンライン取引先または日本銀行が送信する日銀ネット電文における項目「InstructionIdentification」等の設定内容

- ・ SWIFT 電文の項目に関する記載ルール（現時点における最新のものを）を踏まえ、日本銀行が外国中央銀行等から受信した MX 電文の情報を日銀ネット電文により送信する場合には、別紙 1 および別紙 2 に記載のとおり、以下の要領で設定を行う予定です。

①項目「InstructionIdentification」については、「日本銀行が設定する取引番号」を設定する。

②項目「EndToEndIdentification」については、「日本銀行が外国中央銀行等から受信した MX 電文の該当項目に記載された情報」を設定する。

③項目「TransactionIdentification」については、「日本銀行が外国中央銀行等から受信した MX 電文の該当項目に記載された情報」を設定する。ただし、日本銀行が受信した MX 電文の該当項目に情報が記載されていなかった場合、値として「.」（半角ピリオド）を設定する（別紙 3 の「別紙 1. 「顧客送金：CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」における変更箇所」および「別紙 2. 「金融機関間送金：BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」における変更箇所」における項番等 15 にも

⁴ 日本銀行が当座勘定への入金を行うオンライン取引先については、項目群「InstructedAgent」に現行通りの内容を設定します。

記載しています)^(注)。

(注) 項目「TransactionIdentification」は、MX 電文においては必須項目ではありませんが、日銀ネット電文においては現行どおり設定が必須です。

- ・ オンライン取引先が日本銀行に対して送信する日銀ネット電文についても、上記以外の項目（項目群「RemittanceInformation」に属する項目「Unstructured」等）への入力を行わないでください。
- ・ なお、日本銀行が外国中央銀行等から受信した MT 電文 の情報を日銀ネット電文により送信する場合には、従来同様、以下のとおり設定を行います（オンライン取引先が日本銀行に対して送信する日銀ネット電文についても、同様の取扱いを想定しています）。
 - ①項目「InstructionIdentification」については、「日本銀行が設定する取引番号」を設定する。
 - ②項目「EndToEndIdentification」については、「日本銀行が外国中央銀行等から受信した MT 電文 の Tag20（顧客送金の場合）または Tag21（金融機関間送金の場合）に記載された情報」を設定する。
 - ③項目「TransactionIdentification」については、「日本銀行が外国中央銀行等から受信した MT 電文 の Tag20 に記載された情報」を設定する。

以 上